

事業者向け

令和5年度 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		児童発達と放課後等デイサービスの活動スペースは区分けしているが定員に対するスペースは適切である。必要に応じてパーティションを使ったり、療育内容を考え、環境調整を行い、安全性に配慮している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		利用人数に対して、常に必要な人員配置をしている。配置基準に加算の職員配置、活動内容によってはさらに必要時には職員を増員している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		室内はバリアフリー対応となり、各扉には指詰め防止の仕様となっている。活動スペースを広く取り活動時も指導員が安全に配慮しながら関わっている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日営業終了後に清掃、消毒を行っている。活動内容に合わせてながら備品の配置など変えて活動しやすいように配慮している
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		営業終了後に活動の振り返りを行い、参加できていない職員には後日、情報共有をおこない、問題点、解決策など話し合っている。また、話し合った結果はスタッフ全員が共通認識できるように情報共有し、支援の質向上に努めている。
	6	保護者等向け評価表により保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○	令和5年9月開祖の為、保護者向け評価表は今回の実施が初めてであるが、今後は保護者に向けてのニーズアンケート等を実施し要望や改善点の把握に努めていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○	令和5年9月開所の為、今回の自己評価が初めて実施となる。実施後はホームページ上にて公開する予定
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	外部評価は行っていないが、社内による第三者評価を行ったり、適宜社内でも相談し、業務改善につなげている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		オンライン研修などに参加し、不参加だった職員には伝達講習をおこなっている。研修報告書を作成し書面上での振り返りもできるようにしている
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		定期的アセスメントに加え、日頃のお子さまの様子や保護者様との面談、関係者からの情報などから分析しお子様一人一人に合った支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		支援を考えるうえで必要な情報収集が効率的に行えるように事業所独自のアセスメントシートを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで具体的な支援内容が設定されているか	○		5つのスキル（日常生活、運動、学習、社会性、感性）を向上させるため個別療育、集団療育を実施し個別のニーズに支援できるように活動内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		児童発達支援管理責任者により作成された個別計画書を職員へ確認し意見を出し合い情報共有を行い、必要時は訂正を行う。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		定期的にミーティングを行い、児童の発達状況や季節の行事などを盛り込んで、職員同士で意見を出し合いながら活動内容を決めている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		子ども達の興味のある物や希望の活動内容などで達成感や満足感を味わえるようなプログラム内容を立案するように心掛けている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○		実施した活動に対し職員間で振り返りを行い、子どもの状況、発達段階を共有し個別計画に反映している

事業者向け

令和5年度 児童発達支援自己評価表

チェック項目		はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	17	○		支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか
	18	○		支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか
	19	○		日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか
	20	○		定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか
関係機関や保護者との連携	21	○		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか
	22		○	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか
	23		○	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保険、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか
	24		○	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか
	25		○	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか
	26		○	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか
	27	○		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか
	28	○		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか
	29	○		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等への積極的に参加しているか

事業者向け

令和5年度 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡ノートや送迎時での保護者への情報交換などで情報共有を行っている。送迎時など不在が多い保護者にはline等を利用し情報提供を行っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	事業所として保護者に対する研修を開催はしていないが、研修資料の配布や、個別に保護者の相談に応じている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約の際に書面での説明を行っている。変更あれば適宜説明を行う。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画書」を示しながら支援内容を説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		児童発達支援管理責任者により作成された個別計画書を保護者に説明、同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対応する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者様の悩みを共感的に聞くこと、相談しやすい関係性作りを大切にし、必要に応じて助言や家族支援を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会等は開催をしたことはないが、保護者の横のつながり等の必要性は十分理解している。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速に対応しているか	○		相談や申し入れ時は職員間で内容を共有し、迅速に対応できるようにしていきたい。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		会報誌等の発行はしていないが、Instagramを定期的に更新し、療育内容、日々の様子などの情報発信を行っている。また、個別にSNSを使用しこどもの日々の様子などを報告している。
	38	個人情報に十分注意しているか	○		契約時に個人情報に関する内容を書面で説明し、同意をいただいている。関係書面は個々にファイリングし鍵のかかる場所に保管している。情報漏洩がないように十分に配慮し職員で周知している。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		個々の特性や理解度、今後の見通しを含めてイラストや文字、写真等で伝え方の工夫を行っている。成長過程に合わせながら適宜見直しを行う。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在は地域住民を招待する行事を行っていないが、近隣の公園での外遊びでは近隣住民との関わりも見られる。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルを策定はしており、事業所内での周知に努めているが、保護者への周知が不十分のため、いつでも閲覧できるように入り口にファイルを設置している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		利用している子どもが全員参加できるように月ごとに実施曜日を調整しながら訓練に参加してもらっている。

事業者向け

令和5年度 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	43	事前に、内服や予防接種、てんかん発作等子どもの状況を確認しているか	○		アセスメントや事前情報などで確認を行い、注意点や内服方法など職員間で共有している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	事前情報や保護者からの情報で対応している。必要時、医師の指示書に基づいて対応していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例集は作成していないが、全事業所の事故報告をいつでも確認できるようにファイリングをし職員間で共有している。スタッフ全員で共有し再発防止に努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修に積極的に参加している。不参加の職員にも参加した職員からの伝達をおこない周知している
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		身体拘束を行う際の原則及び事後の対応などについての理解と身体拘束についてのマニュアルを周知徹底するとともに、必要性がある場合にはマニュアルに沿って適切な対応をしていく。